

神奈川県立金沢養護学校



学校だより

第146号 平成31年4月25日

新緑の季節へ

校長 鈴木 英資

始業式・入学式から早くも3週間が経ち、桜や菜の花、チューリップなどが咲き、鮮やかな色があちこちに満ちた季節から、緑の若葉が主役の季節へと移り変わってきました。近隣の公園の緑も少しずつ色濃くなってきているのを感じます。校内のソメイヨシノもすっかり葉桜となり、電車の車窓から見えるこのぼりは、あちこちで気持ちよさそうに空を泳いでいます。時代もいよいよ平成から令和へとバトンタッチされます。身近なものでは、カレンダーや手帳、配布文書などその変化にしっかり対応しなくてはと思います。

わたしたちの周りには、日々変化する自然や社会の動きがたくさんあります。児童・生徒のみんなには「あれ？なんか違うな？」「どうして？」と不思議をいっぱい見つけてほしいと思います。その発見や感じている姿を、大人である周囲の教職員がしっかりと受け止め、子どもたちの好奇心や探究心を大切に、「わかる」「できる」「えがお」があふれる学校にしていきたいものです。今年はゴールデンウィークが10連休となり、冒頭で触れましたが、連休中には元号が「平成」から「令和」となります。学校も様々な文書の表記の変更などがありますが、混乱ないように進めてまいりたいと思います。

また、全校保護者懇談会、分教室保護者懇談会には多くの保護者の方々に出席をいただき、ありがとうございました。今年度末には、「こども達が学校に来てよかった」、「保護者が通わせてよかった」、「教職員が、共に過ごせてよかった」と思えるように日々努力をしてまいりたいと思います。

そして、今年度の学校目標を策定しました。学校ホームページを参照していただければ幸いです。教育力を向上させること、地域とのつながりを深めること、安全安心な学校づくりを進めることなど保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様とともに歩む学校となるよう、これからも様々な発信に努めてまいりたいと思います。